

第四商業高等学校（2学年用）

教科： 商業

科目： C選択 財務会計演習

単位数： 2 単位

◆対象学年組： 2 学年 A 組～

◆使用教科書（ ）

◆教科 商業 の目標：

知識及び技能： 商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

思考力、判断力、表現力等： ビジネスに関する課題を見出し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

学びに向かう力、人間性等： 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目 C選択 財務会計演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業活動や経営活動におけるビジネスに関する会計処理の重要性を経済社会における事例と関連付けて理解している。また、全商簿記業務検定の1級合格を目指して学習に取り組んでいる。	企業活動や経営活動における課題をビジネスに関する会計処理の重要性と関連付けながら発見し、根拠に基づいて対案を考案している。また、実在する企業の財務諸表を読み解き、そこから企業が抱える課題点やその後の展望などを思考・推察する。	企業活動や経営活動における企業倫理の重要性について、自ら学び、企業活動や経営活動に関する事例などについて、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1編 財務会計の基礎 第1章 企業と企業会計	・企業会計の意味、企業会計の役割、財務会計の機能について理解させる。 ・財務会計と管理会計の違い及び財務会計の機能を理解させる。 ・株式会社の仕組みを理解させる。 ・企業会計制度の意味を理解させる。 ・会社法と会計規則、金融商品取引法と財務諸表等規則、法人税法の内容についてそれぞれ必要性を理解させる。 ・企業会計原則の意味と一般原則の内容を理解させる。	【知識・技能】 財務会計の基礎的な知識を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 会計を学ぶことの意味と必要性を考えようとしたか。 企業会計の意義と役割を理解し、会計の学習に興味を示し、学習しようとする態度が養われたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計の制度とそれを支える会計初歩について関心を持ち、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	5
第2章 企業会計制度と会計基準						
第2編 資産 第3章 資産の分類と評価	・資産の意味と分類を理解させる。 ・どういった資産の各項目の記帳法を習得させ、評価法を理解させる。 ・資産評価の意味とその評価基準から、資産評価の意味とその評価基準から、資産評価の考え方を理解させる。 ・当座資産の意味を理解させる。 ・当座資産の各項目の記帳法を習得させ、評価法を理解させる。	【知識・技能】 ・資産の評価基準について、その内容を理解し、習得することができたか。 ・当座資産とその評価について、その内容を理解し、会計処理を習得したか。 【思考・判断・表現】 ・それぞれの資産について、どういった特徴を持つかなどを考え、分類と評価にあたり、適切な判断ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資産の分類と評価の理解に関心をお高めその学習を積極的に進めようとしているか。 ・当座資産の意味と種類に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	8
第4章 流動資産 当座資産						
第5章 流動資産 棚卸資産・その他の流動資産	・棚卸資産の意味と種類を理解させる。 ・棚卸資産の取得原価、期末評価、棚卸減耗損・商品評価損の内容を理解させ、その処理法を習得させる。 ・売掛金と買掛金の内容と処理法を理解させる。 ・その他の流動資産のそれぞれの意味と種類を理解させる。	【知識・技能】 ・棚卸資産の取得原価、払出債額の計算と期末評価、売掛金と買掛金について、その内容を理解し、計算法を習得したか。 ・その他の流動資産について理解し、会計処理を習得したか。 ・有形固定資産の意味と種類、その取得原価の計算方法について、その内容を理解し、習得したか。 ・有形固定資産の支出と収益の支出の処理法について、その内容を理解し、習得したか。 【思考・判断・表現】 ・棚卸資産・その他の流動資産の会計処理に関して自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 ・有形固定資産の会計処理に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・棚卸資産・その他の流動資産の意味と種類に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。 ・有形固定資産の意味と種類に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	8
第6章 固定資産 有形固定資産	・有形固定資産の意味や種類や、それぞれの取得原価の計算方法を理解させる。 ・有形固定資産に対する支出について資本的支出と収益的支出の考えかた、処理法を理解させる。 ・有形固定資産の期末評価と減価償却との関連を理解させる。	【知識・技能】 ・リース取引の意味と種類について、その内容を習得させる。 ・減価償却の意味と種類と発生原因を理解したか。 ・減価償却の計算方法とその記帳法について、その内容を理解し、習得したか。 【思考・判断・表現】 ・リース取引の会計処理に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 ・減価償却に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・リース取引の意味と種類に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。 ・減価償却の意味を理解した上で、固定資産の買い替えと売却の処理についてその学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	3
第7章 固定資産 リース取引	・リース取引の意味と分類を理解させ、その会計処理を習得させる。					
第8章 固定資産 減価償却	・減価償却の意味と減価の発生原因を理解させる。 ・減価償却の計算方法と各計算方法の特徴を理解させる。 ・固定資産の買い替えと売却の処理方法を理解させる。					
第9章 固定資産 無形固定資産	・無形固定資産の意味と種類や、それぞれの取得原価の計算方法を理解させる。 ・無形固定資産の期末評価を理解させる。	【知識・技能】 ・無形固定資産の意味と種類について、その内容を習得させる。 ・投資その他の資産の意味と種類について、その内容を理解させる。 【思考・判断・表現】 ・無形固定資産の会計処理に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 ・投資その他の資産の意味と種類の会計処理に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・無形固定資産の意味と種類に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。 ・投資その他の資産の意味と種類に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	8
第10章 固定資産 投資その他の資産	・投資その他の資産の意味と種類を理解させる。					
第9編 負債と純資産 第11章 負債	・負債の意味と分類を理解させる。 ・流動負債と固定負債の意味と分類を理解させる。 ・引当金の意味とその処理法を理解させる。	【知識・技能】 ・負債の意味と分類について、その内容を理解し、習得したか。 ・純資産の意味と分類について、その内容を理解し、習得したか。 ・自己株式、新株予約権の意味を理解できたか。 【思考・判断・表現】 ・引当金や繰上償却に関して、なぜ必要なのかを思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 ・資本剰余金、資本剰余金、利益剰余金の会計処理に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・負債の意味と分類に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。 ・純資産の基礎知識に関心をお高め、その重要性の認識と富に学習を進んで行おうとしたか。	○	○	○	8
第12章 純資産	・純資産の意味と分類を理解させる。 ・資本剰余金の増加・減少の意味とそれぞれ処理法について理解させる。 ・資本剰余金の内容とその増加や減少に関する処理法を理解させる。 ・利益剰余金の内容とその増加や減少に関する処理法を理解させる。 ・自己株式の意味と、その処理法を理解させる。 ・新株予約権の意味と、その処理法を理解させる。					
第4編 損益計算書 第13章 損益計算書の意味と基準	・損益計算書の意味を理解させる。 ・損益計算書の基準（発生主義・実現主義）や、それぞれの特徴を理解させる。	【知識・技能】 ・損益計算書の意味と基準について、その内容を理解し、習得したか。 ・営業収益の計算と営業外費用の計算と種類について、その内容を理解し、習得したか。 ・外債取引の意味と内容や会計処理を理解し、その内容を習得したか。 ・特別利益・特別損失の内容と種類について、その内容を理解し、習得したか。 ・法人税等の内容と会計処理を理解し、習得したか。 【思考・判断・表現】 ・財産法と損益法による純損益計算が自らできるか。 ・営業収益の計算に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 ・営業外費用の計算に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 ・外債取引の計算に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 ・特別利益の計算に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 ・法人税等の会計処理に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・損益計算書の意味、収益・費用のいみと区分、損益計算の基準の理解に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。 ・営業収益の理解に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。 ・営業外損益の計算の理解に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	8
第14章 営業収益の計算	・営業収益の内容と認識の基準を理解させる。 ・営業費用の内容と種類を理解させる。					
第15章 経常損益の計算 営業外損益	・営業外損益の内容を理解させる。					
第16章 経常損益の計算 外債取引	・外債取引の意味と内容や会計処理を理解させる。					
第17章 当期純利益の計算 特別利益	・特別利益の意味と内容や、その会計処理を理解させる。					
第18章 当期純利益の計算 法人税等	・株式会社が納付する税金の種類を理解させる。 ・法人税等の会計処理を理解させる。 ・税引当金の意味と会計処理を理解させる。					
第5編 貸借対照表の作成 第19章 貸借対照表の作成	・貸借対照表の作成方法や形式、区分と科目の分類、配列などについて理解させる。 ・報告式による貸借対照表の作成方法について理解させる。	【知識・技能】 ・貸借対照表の形式、区分、科目分類・配列などについて、その内容を理解し、習得したか。 ・損益計算書の形式、区分、科目分類・配列などについて、その内容を理解し、習得したか。 ・株式資本等変動計算書の形式、区分、科目分類・配列などについて、その内容を理解し、習得したか。 【思考・判断・表現】 ・貸借対照表を作成するにあたり、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 ・損益計算書を作成するにあたり、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 ・株式資本等計算書を作成するにあたり、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・貸借対照表の作成を自ら進んで行おうとしたか。 ・損益計算書の作成を自ら進んで行おうとしたか。 ・株式資本等計算書の作成を自ら進んで行おうとしたか。	○	○	○	5
第20章 損益計算書の作成	・損益計算書の形式、区分と科目の分類、配列などについて理解させる。 ・報告式による損益計算書の作成方法について理解させる。					
第21章 その他の財務諸表	・株式資本等変動計算書の作成方法について理解させる。 ・注記の作成方法について理解させる。					
第6編 連結財務諸表 第22章 連結財務諸表	・財務諸表の意味を理解させる。 ・財務諸表分析の方法を理解させる。 ・財務諸表分析(収益性の分析・効率性の分析・安全性の分析・成長性の分析・成長性の分析)を理解させる。 ・構成比率、権益比率の分析の方法を理解させる。 ・財務諸表分析を実際に行い、理解を深める。	【知識・技能】 ・財務諸表分析の意味と方法について、その内容を理解し、習得したか。 ・連結財務諸表の意味とサック目的について、その内容を理解し、習得したか。 【思考・判断・表現】 ・財務諸表の活用がなぜ必要かを考えたか。 ・財務諸表分析の意味と役割を考え、適切な分析を考えたか。 ・財務諸表分析の方法に思考をお高め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断して学習を進めているか。 ・連結財務諸表の活用に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・財務諸表の活用に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。 ・財務諸表分析の意味と役割に興味を持ち、その学習を積極的に進めようとしているか。 ・連結財務諸表の活用に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	8
第23章 連結財務諸表の活用	・連結財務諸表の意味と意義を理解させる。 ・連結財務諸表の活用方法を理解させる。 ・連結財務諸表の活用方法について理解させる。					
第3編 連結財務諸表 第24章 連結財務諸表の作成 その1	・支配権獲得日における連結貸借対照表の作成手続きについて理解させる。 ・投資と資本の繰越消去法の手続きについて理解させる。 ・開始仕訳の必要性と意味について理解させる。	【知識・技能】 ・支配権獲得日における連結貸借対照表の作成方法と、投資と資本の繰越消去法について、その内容を理解し、習得したか。 【思考・判断・表現】 ・支配権獲得日における連結貸借対照表の作成方法と、投資と資本の繰越消去法に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・支配権獲得日における連結貸借対照表の作成方法と、投資と資本の繰越消去法に関心をお高め、その学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	8
記録例題演習	3年生で学習する総合実践の準備として、簿記一巡の手続きが理解され、記録作成ができる。	【知識・技能】 ・これまで学んだ簿記の知識、記録技術はしっかりとできているか。 【思考・判断・表現】 ・これまで学んだ簿記の知識、記録技術を活用して適切に判断できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家庭での総合実践に向けて記録例題の意味と役割の重要性を理解し、積極的に進めようとしているか。	○	○	○	3